

2学期を終えて

猛暑が続き、休憩時間に運動場で遊ぶことができなかった2学期のスタートから80日目の本日、終業式を迎えました。

思い返すと、学年集団で歌声や音色を重ねた音楽祭、ふれあい遊びや学級での取組を通して、自分の言動を振り返ったり仲間と前向きにつながったりした人権旬間など、一つ一つの行事や取組の中で、少しずつ力をつけていった2学期でした。また、日々の授業や家庭学習でもコツコツと努力し、「わかった」「できた」を貯めていきました。本日の終業式では、子ども一人一人が、自分の80日間の出来事や成長を頭の中で想像しながら校長先生のメッセージを聞いていました。

明日からは、17日間の冬休みです。冬休みは、お年玉等「お金」に触れる機会もあります。そこで、終業式の後、各学級で「お金」について考える機会をもちました。

「どのような願いでお年玉やお小遣い等をくださるのか」「どのような思いで毎日働いておられるのか」「もしもおごったりおごられたりした時、どのように思うのか」等、お家の方の思いを想像し、「お金」の大切さについて学びました。



人権旬間、ふれあい委員が中心になって進めた「人権ふれあい遊び」。
前向きな言葉でつながり、笑顔いっぱい！